

サポート

No. 168

令和2年3月24日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

祝 卒業 ～それぞれの旅立ち～

令和2年3月、県内の各特別支援学校において卒業式が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、卒業生と教職員による卒業式となりましたが、各校では工夫を凝らし、心を込めて子どもたちの旅立ちを祝いました。今回は、県立能代支援学校と県立ゆり支援学校の様子をお伝えします。

県立能代支援学校 卒業式

令和2年3月6日（金）、県立能代支援学校では、小学部4名、中学部6名、高等部15名の卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業のため、来賓をはじめ、在校生も保護者も不在の卒業式でしたが、できる限りの励ましの思いを贈りたいと職員一同誠意をもって準備し、当日を迎えました。

晴れやかな表情での入場。緊張しながらも、喜びを抑え、一步一步を確かめるように歩んだ卒業証書授与。佐藤淳校長の「卒業生の皆さんは、素直で、人に優しく、そして、自分のできることに精一杯取り組むこと、仲間と力を合わせることで、人に喜んでもらえるように頑張ることができる皆さんです。」と、これまでの頑張りを称え、激励の言葉を贈った式辞。そして、未来の自分への誓いと保護者や在校生、先生方への感謝の気持ちが込められた「たびだちのことば」。すべてが光り輝き、記憶に残る場面であり、姿でした。

前例を見ない状況の中、卒業生の思いの込められた力強い言葉と精一杯の歌声は、暗雲を吹き飛ばし、式に参加できなかった皆へ届け！とばかり、会場に響き渡りました。

<県立能代支援学校 教諭 伊藤 健人>



【校長式辞】



【たびだちのことば】

県立ゆり支援学校 卒業式

令和2年3月6日（金）、県立ゆり支援学校では、小学部4名、中学部5名、高等部16名の卒業式が行われました。式では、田口睦子校長から卒業生25名に卒業証書が手渡されました。「ありがとう20年 巻き起こせ新風」というテーマで取り組んだ20周年記念事業をはじめ、様々な活動においてリーダーとして地域に新風を巻き起こしてきた卒業生たち。証書を受け取るその表情からは、これまで学び舎で培った友情と思い出を胸に、新しいステージに向かって勇気をもって進もうという気概が感じられました。

田口校長は式辞で、次のように卒業生に語りかけました。「これまで学んだ『自分で考え、自分から動く』ということ、『やればできる自分』であることを信じて、自信をもって一步を踏み出してほしい」と。そして、「在校生が皆さんのバトンを受け継いで、地域に新しい風を巻き起こしていく。後輩たちを応援してください」と締めくくりました。

続く「よろこびのことば」では、高等部卒業生が「これからも新しい風を巻き起こしてください」と力強く呼びかけました。このメッセージは、これまでの様々な場面における卒業生の姿を通して、当日会場にいなかった在校生一人一人に届いているものと思います。

< 県立ゆり支援学校 教諭 山中 征子 >



【校長式辞】



【卒業生入場】

学校紹介～県立比内支援学校たかのす校～

「ハンドスタンプアート制作」

～東京パラリンピックを応援する巨大アートに参加しよう～

令和2年2月20日（木）、県立比内支援学校たかのす校において、ハンドスタンプ（手形）で、「世界一大きな絵を描くプロジェクト」に全校で参加しました。自分や仲間のハンドスタンプを見ながら、和やかな雰囲気で作りました。

ハンドスタンプアートプロジェクトは、病気や障害を抱える子どもたちと、その子どもたちを応援する方々の手形や足形を集めて、世界一大きな絵を描くプロジェクトとして2013年にスタートしました。講師の宮澤かれんさんは、日本だけでなく世界中を巡り、ハンドスタンプを集めてきました。2019年12月時点で、10万枚以上のハンドスタンプが集まっているとうかがいました。このあと、アーティストの方々も加わり、東京パラリンピックを応援する巨大アート作品を作ることです。制作したハンドスタンプが、どのような作品になるのか今からとても楽しみです。

< 県立比内支援学校たかのす校 教諭 佐々木 信子 >



【しっかり押してきれいな
ハンドスタンプが完成】



【学校掲示用も制作】

おめでとうございます

令和元年度全日本学校関係緑化コンクール 学校林等活動の部

準特選（国土緑化推進機構会長賞）受賞 県立能代支援学校

3月に開催された審査会において、秋田県代表の県立能代支援学校が、準特選（国土緑化推進機構会長賞）を受賞しました。今後も、継続した取組が期待されます。



【植樹の様子】

第26回全国特別支援学校文化祭 写真部門 文部科学大臣賞受賞

県立能代支援学校 高等部1年 森 穂峻さん 「友達つかまーえた！ちょ、ちょっと待った！」

第26回全国特別支援学校文化祭写真部門において、県立能代支援学校高等部1年の森穂峻さんが文部科学大臣賞を受賞しました。森さんの作品は、第17回秋田県特別支援学校文化祭「令和元年度みんなの写真展」で最優秀賞を受賞し、「教育あきた3月号」でも紹介する予定です。



【受賞作品】

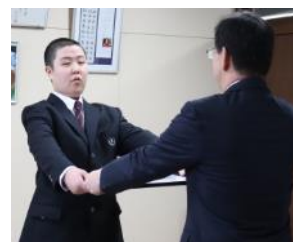
東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた ポスター募集企画 銅賞

県立稲川支援学校 小学部6年 鈴木 翔太さん

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会では、2015年度からポスターを募集しています。このたび、県立稲川支援学校小学部6年、鈴木翔太さんが銅賞に選ばれました。東京での授賞式は、残念ながら新型コロナウイルス感染症対策のため中止になってしまいましたが、後日校長先生から賞状を手渡されました。



【受賞作品】



【受賞の様子】

お知らせ

今年度も小・中学校等の教職員を対象に各種研修会を実施し、研修会を通して各学校等の教職員が、特別支援教育への理解を深める機会となりました。令和2年度も引き続き、特別な支援を必要とする幼児児童生徒に組織的な対応ができよう、各種研修会を開催しますので積極的にご活用ください。研修の内容や対象等は、「令和2年度特別支援教育の研修案内」や特別支援教育課のホームページをご覧ください。



今年度実施した研修会の中から、2つの研修会を紹介します。

令和2年度 特別支援教育の研修案内
インクルーシブ教育システム推進事業
あんなまで出る特別支援教育推進事業

研修

- 特別支援教育セミナー**
【対象】 特別支援学級、通級指導教室、通常の学級の担任・担当者
【内容】 授業研究のほか、学級・教室及び学校全体のニーズに応じた研修
※特別支援学級担任・通級指導教室担任当教員は、必ず受講してください。
- 特別支援学級スキルアップ授業研修**
【対象】 知的障害及び自閉症・情緒障害特別支援学級担任（特別支援学級の経験が1年以上ある教員）
【内容】 授業力向上を目的とした研修
- 特別支援教育支援員配置校研修**
【対象】 特別支援教育支援員が配置されている小・中学校及び義務教育学校
【内容】 対象児童生徒への支援の実際及び担任と支援員との連携の在り方等の研修
※特別支援教育支援員が配置されていない学校は、随時参加していただきます。
- その他の研修会等のお知らせ**
・特別支援学級担任等実践研修
・特別支援学校のセンター的機能を活用した研修等
・総合教育センターのC講座
・特別支援教育がやきこーディング
・特別支援教育実践研修会
・特別支援教育コーディネーターの各種研修等

相談

- 「専門家・実務チーム」による個別相談**
【対象】 各学校（園）
【内容】 障害等のある幼児児童生徒の実際把握や指導内容・方法等に対する支援
- 特別支援学校の幼児児童生徒やサテライト事業**
【対象】 幼児児童生徒、保護者、学級担任等（協議相手） 特別支援学校 県内3地区 特別支援学校 県内2地区

秋田県教育委員会

【特別支援教育セミナー】

特別支援学級や通級指導教室、通常の学級に特別支援教育担当指導主事と特別支援学校の教員等が訪問し、授業研究を含む研修会を実施します。

（受講者の感想）

学校全体の特別支援教育への関心が高まり、特別な支援を必要とする児童への支援の在り方を考えるよい機会になりました。

【特別支援学級スキルアップ授業研修】

知的障害及び自閉症・情緒障害特別支援学級に特別支援教育担当指導主事と特別支援学校の教員が訪問し、授業づくりを中心とした研修を実施します。

（受講者の感想）

自立活動の学習指導案の書き方を基礎から学ぶことができ、有意義な研修となりました。

令和2年3月、「特別支援学校 自立活動ガイド」を発行します

特別支援学校 自立活動ガイド

令和2年3月
秋田県教育庁特別支援教育課

本冊子は、2年間にわたる「授業改善プロジェクト」の実践に基づいた、自立活動のガイドブックです。自立活動の指導の改善・充実に当たって、大切にしたいポイントや県内特別支援学校の実践をまとめました。特別支援教育課のホームページからダウンロードできますので、ご活用ください。

特別支援教育課ホームページアドレス

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/15431>